



しよく りん ほん ばい いっ かん て が
植林から販売まで一貫して手掛ける

かぶ しき かい しゃ すぎ しょう
株式会社 杉生

もくざい か こう ほん ばい
木材加工・販売

所在地 新城市矢部土取10-2 TEL 0536-24-1530

もく ざい ぎょう かい げん き
木材業界を元気にするため

う まれた かい しゃ
生まれた会社

けん ちく ぶつ つか もく ざい つう じょう やま き
 建築物に使われる木材は、通常、山から切り
 出されると、まずは丸太を扱う原木市場に
 運ばれます。そこで製材所や木材販売業者
 が丸太を買付け、自分の工場や製材所
 が丸太を買付け、自分の工場や製材所
 角材や板材にカットしてから、建築会社など
 に販売します。杉生は、木材の販売拡大に
 は、こうした製材品の販売だけでなく、木材
 製品を製作し販売することが重要だと考え
 た新城地域の製材所など6社が協力して、
 1990年に設立されました。木材の加工と販
 売を主な業務として、名古屋や岡崎といった
 都市部にも、新たな取引先を増やすことに
 成功。また、オーダーメイドで家具を製作した
 り、イベントでDIY用に木材を販売するなど、
 一般客への販売にも力を入れています。



がつ にゅうしや しん
 4月に入社した新
 人ですが、住宅の
 鴨居や敷居などを
 製作しています。と
 ても雰囲気の良い
 会社です。

くま かい たく や
熊谷 卓也さん



に ほん りん ぎょう き き ちよく めん
日本の林業が危機に直面

すぎ しょう いま
杉生が今やるべきこと

に ほん こく ど わけ い じょう しん りん みどりゆた
 日本は国土の6割以上が森林という緑豊
 かな国です。しかし、国内の林業は、安い
 外国材に押され、国産の杉や桧が売れな
 い時期が長く続きました。売れたとしても、
 とても安い価格で買われてしまうので、事業
 が成り立たなくなり、山を手放す人や放置
 してしまふ人が増えてしまいました。最近で
 は、国産材の良さが見直されていますが、
 少子化などによる人口減少で新築住宅が
 減り、木材の需要自体が落ち込んでいま
 す。こうした状況から、林業では後継者が
 育たず、木の手入れをする人がいなくなり、
 山がどんどん荒れてしまいました。地域の
 約9割が森林である奥三河にとっては、他
 人事ではない深刻な問題です。そんな状況
 に危機感を抱き、杉生では、新たな事業と
 して「山の再生」にチャレンジしています。



やま さい せい りん ぎょう ふっ こう
山の再生と林業の復興

すぎ しょう やま さい せい と く だいいつ ぽ
 杉生は、山を再生する取り組みの第一歩とし
 て、みなさんの住む奥三河にある、東栄町の山
 を6年ほど前から購入し始めました。その山で、
 伐採・造材(枝などを適当に切って丸太にする
 こと)・搬出などの作業を行い、丸太として山か
 ら直接木材を調達しています。現在では、杉生
 で扱う木材の9割ほどが、奥三河で育った杉や
 桧です。いずれは、苗木を植えて木を育てる「植
 林」事業にも取り組む予定です。植林から伐採
 までの、林業のサイクルを復活させることが、山
 の再生、林業の復興につながって行くのです。

やま かわ つう うみ
 山は川を通じて海とつながって
 います。山の問題を解決する
 ことは、地域の環境全体を良く
 することにつながっています。

やま じ よう へい
山路 陽平さん



林業の未来を切り拓く 杉生の役割

杉生では、自社の山から品質の良い木材を調達する一方で、「枝虫材」や「大径木」などの、建築などには向かないとされる木材の有効活用にも積極的に取り組んでいます。枝虫材は昆虫の食害を受けた木材のこと。大径木は、大きくなりすぎて扱いにくい木材です。これらは、山の手入れをされない時代が続いた結果、増えてしまった木材です。しかし、売れないからと放置したままにすると、植林や健全な木の成長を妨げる原因となります。杉生では、このような材を使って学校用の机やイスを作ったり、幹の太さを生かした家具を製作するなど創意工夫をしています。近年では、バイオマス発電や肥料の原料としても、木材が注目されています。木の調達から販売まで一貫して手掛ける会社だからこそ、最先端の情報や社会の要望をキャッチして、新たな木材の活用方法を生み出すことができると考えています。



「スギノアカネトラカミキリ」という昆虫の幼虫が食べます。

枝虫材

強度に問題はなく、建築材として十分使えます。しかし、見た目が悪い、虫がいそうで気持ち悪い(成虫になると出て行くのでいません)などの理由で、価値が低い木材として扱われています。



大径木を使ったテーブル

太い幹を持つ巨木だからこそ出せる「木目」を生かしたテーブル。木の調達と家具製作を行う杉生だからこそできる、資源の有効活用です。



将来は商品開発やデザインにもチャレンジしてみたいです。杉生のことをもっとみなさんに知ってほしいな。

小柳津 仁さん



知ることから始めよう！ 山の見学会

木や山について理解を深めてもらう目的で、一般向けに年2回、自社の山を会場に「山の見学会」を開催しています。杉や桧の伐採の様子を目の前で見学したり、枝打ち体験を通して、林業を実体験。実際に木や土にふれることで、参加者にとって、山が身近なものになります。小さな子どもから大人まで、楽しみながら学べる場として、人気のイベントです。



社長を含め、社員が仲の良い、風通しの良い会社です。これも会社を支えて行きたいです。

星野 安広さん



社長からみんなに MESSAGE

奥三河はとても恵まれた場所です！

奥三河は非常に恵まれているところだと思います。暮らしやすく、仕事があり、交通の便も悪くない。地域に色々な資源がある中で、何に取り組むか、またその取り組み方によって可能性は広がります。みなさんの力を生かせる場がこれからたくさんあると思います。そのチャンスを生かしてがんばってください。



取締役社長
峰野 成彦さん